

事業所名

キッズサポートクラブあしたばプラス

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和8年

3月

13日

法人（事業所）理念		「子どもたちに愛情を」「保護者に安心を」「社員に働く喜びを」					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・「すべての子どもたちの健全な育成を図るための支援」を基本理念とし、「友だちと遊ぶことの楽しさ」「その楽しさを作るための関係づくり」をプログラムを通して伝えていく。 ・心温まる雰囲気の中でたくさんの友だちや指導員と時間を共にし、体験活動を通じてそれぞれの特性や個性に合わせた療育を行っていく。 					
営業時間		10時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時に検温の実施と連絡帳に記載された睡眠時間と朝食の有無を確認し、児童の表情などからも心身の健康状態を把握する。気になる様子は保護者に連絡し、適切に対応する。 ・利用者の特性や保護者からの要望に応じて食事、整容、更衣、排泄などの介助を行い、本人の意思決定を尊重した支援にあたる。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の「得意なこと」「苦手なこと」を十分に理解し、児童指導員や保育士と共に行う小集団活動の中で自己肯定感の向上と苦手意識の軽減を図っていく。 ・視覚認知力や手指の微細運動の訓練などについては、集団または個別活動に取り入れながら計画的に実施する。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に実施する集団活動の中で「危険予測」「空間認知力」「視覚認知力」のトレーニングを取り入れた遊びを行い、日常生活に必要な認知力の向上を図る。 ・平日および土曜日や学校休業日（長期休み含む）のスケジュールは、時間の感覚を身に付けるためにタイマーなどを使用し、個別に声掛けや視覚に訴える方法で支援を行う。 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・学齢に応じた言葉の使い方や、相手の気持ちを考えた「伝え方」をSSTの活動に取り入れ、学校生活で活かせるように支援を行う。 ・児童の理解度に合わせて「ことば」の学習を段階的に実施する。また、言葉以外にもジェスチャーやハンドサインでの意思表示を積極的に促し、意思決定支援に繋げる。 					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の小集団で過ごす中で「感情のコントロール」や「相手を思いやる心」「気持ちの切り替え」を様々な場面で体験を通して学べるよう支援する。 ・お出掛け行事（お祭りやイベント参加）を通して社会のルールやマナーを理解し、生活に必要なスキルの基礎を学んでいく。 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳やLINE、送迎時には口頭にて常に情報共有を行い、職員間でも共有。 ・心配事や困りごと、体調不良などの相談にも柔軟に対応し、必要に応じて保護者面談を実施。相談支援員とも連携しながら総合的な支援を行う。 			移行支援	保護者のニーズに応じて、就学相談や進路相談を実施。	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設を利用した運動遊びや社会見学の実施、地域のお祭り等で関係機関と連携してボランティア活動を実践する。 ・他事業所との情報共有ほか、合同レクリエーションの計画と実現を目指す。 			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回事業所内研修を行い、障がい者支援の基本知識を学ぶ。 ・月1回社内研修に参加し、幅広い知識とスキルアップに努める。 ・定期的に外部研修や勉強会に参加し、他職員にも内容を共有する。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節行事（節分、ひなまつり、七夕、夏祭り、秋祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会など） ・お出掛け（初詣、お花見、公園遊び、プール、デイキャンプ、ボウリング、博物館見学、動物園見学、科学館体験、地域のお祭りなど） ・室内活動（クッキング、SST、SDGs活動、子ども会議、季節ごとの製作活動、お誕生日会など）、親子レクリエーション、親子クッキング 					